

## 令和4年度第1回駒来塾運営委員会 議事要旨

《日 時》	令和4年7月11日(月) 午後2時～午後3時
《場 所》	小牧市役所 本庁舎4階 404会議室
《議 事》	(1) 学習支援事業「駒来塾」概要について (2) 6月以降の駒来塾運営について (3) 生徒の追加募集について (4) 今後のスケジュールについて (5) その他
《出席者》	委 員：舟橋 孝司、山本 幾男、光部 明美、安藤 智人、 山田 好広（5名） 事務局：鍛冶屋こども未来部長、川尻こども未来部次長、 伊藤こども政策課長、余語福祉総務課副主幹、 若林青少年育成係長、岩井指導員、舟橋指導員、 荒川
《傍聴者》	なし
《会議経過》	以下のとおり

### 1 あいさつ

〔部長〕

皆様には日頃から本市の青少年健全育成に格別のご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また本日はご多忙にもかかわらず、第1回駒来塾運営委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

駒来塾につきましては、平成29年度からこども・夢チャレンジ推進事業の取り組みの一つとして、家庭環境などを理由に、学習塾に通っていない中学生を対象に実施をして参りました。

昨年度は、新規入塾の時期を1ヶ月前倒し、夏休み終了後には、追加募集を実施するなど、より多くの生徒が学ぶ機会を確保できるよう、駒来塾の運営に努めて参りました。

本日は、令和4年度第1回目の駒来塾運営委員会ということで、今年度及び来年度以降の駒来塾の運営について、委員の皆様には忌憚のないご意見をちょうだいし、今後の運営に生かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

### 2 委員・事務局紹介

### 3 委員長・副委員長選出

委員長・・・舟橋 孝司 委員  
副委員長・・・山本 幾男 委員（委員長の指名による）

### 4 議事

- (1) 学習支援事業「駒来塾」概要について  
資料3に基づき事務局より説明
- (2) 6月以降の駒来塾運営について
- (3) 生徒の追加募集について  
資料4～5に基づき事務局より説明
- (4) 今後のスケジュールについて  
資料6に基づき事務局より説明

#### 【質疑応答・意見等】

〔安藤委員〕

現在、37名の講師、61名の生徒がいらっしゃると思います。講師の人数は、現状足りているのでしょうか。

〔事務局〕

駒来塾は、月に4回ありますが、講師には4分の3、2回から3回ぐらい、半分以上は出ただけでいる状態ですので、現状としてはちょうど良い人数です。

以前は、生徒さんの数に対して、先生方の数が非常に多く、月に1回とか2ヶ月に1回という時もありました。先生方から、もっとたくさん出させてほしいという話があり、そこからしばらく募集はかけておりません。

今後、講師を辞められる先生がみえて、講師に比べ、生徒の人数が多くなった場合には、その都度募集していきたいと思います。

〔安藤委員〕

コロナの影響で入塾者数が少ないということを知りましたので、今後、コロナが収まって生徒が増えるようでしたら、もっと講師の募集も必要なのかなと思います。

また、講師の数が増えた際には、西部地区や南部地区にも施設がありますので、ぜひ拡充をしていただけると嬉しく思います。

〔舟橋委員〕

地区によって若干の偏りがあり、味岡地区については、追加可能が1名、小牧地区は2名ということで、応募人数が追加可能人数より多い場合については、送り迎えを前提にして、東部あるいは北里地区もご案内すると、そういうお話がありました。何名か同時に応募が来た際に事務局の選考基準はありますか。

〔事務局〕

たくさん応募があった場合には、皆さん平等にそれぞれ、他に移動していただくことも相談しながら、その中で、例えば1人だけどうしてもほかの地区には通えないということであれば優先させるなど、事前に検討しておきたいと思います。

## 5 意見交換

学習支援事業「駒来塾」の今後について資料7に基づき説明。

〔山田委員〕

追加募集の子どもたちが実際に入塾できるのが10月中旬ということですが、募集から入塾までの期間をもう少し早くできると良いと思います。

また、駒来塾の生徒の募集にあたり、チラシを配布するとなっていますが、ネットに関してはどのような状況なのかを教えてくださいたいです。体験会については素晴らしいと思います。

〔事務局〕

駒来塾は多くの方から募集するというよりも、経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がない生徒を対象にしていますので、ホームページでの掲載は行っていません。

また、追加募集につきましては、夏休み期間中に、チラシを十分見ていただいて、夏休み終了後に提出いただくというスケジュールで行っておりますので、そこからすると、10月の中旬から開始になってしまうというのが現状です。

4月当初にも募集をかけておりますが、委員のご意見も参考にさせていただいて、スケジュールについては検討したいと思います。

〔光部委員〕

昨年この会議で、中学校に入学して初めての中間試験、期末試験等を経験した後に入るかどうか決めてはどうだという意見が確かあったと思います。

6月に入ってきた塾生をみましても、中間テストであまり良くなくて、こちらで勉強したおかげで、少し成績が上がったという声もありましたので、大変役に立っているのではないかというふうに思います。できるだけ早い段階で体験して、中学校の学習に備えていただきたいと思います。

また、私は北里地区の駒来塾に支援員としても従事しておりますが、西中学校は学期にテストが1回だけだったそうです。いろいろな観点を見ましても、できるだけ早く入塾していただければということをご希望しております。

〔山本委員〕

現場の声としては、3月に3年生が卒業しまして、4、5月頃の生徒が少ないです。その時期の駒来塾は、マンツーマンでできる日もあり、余裕があるので、小学生の段階で体験して早い段階で来ていただくと良いと思います。

塾に来る子は学習面でつまづいている子も多いので、やはり困ってから来るよりも、困る前の段階で来てもらった方が本人にとっても良いと思います。

〔安藤委員〕

より早い段階で子どもたちが学習する機会に恵まれるということはとても良いことです。ぜひ早急にやっていただけたらと思います。

〔舟橋委員長〕

ニーズに応じた形で、子どもたちにとって環境が整ってくるということは素敵なことなので、ぜひご検討いただければと思います。

また、山田委員の意見にあった追加募集の件や、ホームページの件については、非常に難しい部分があるとは思いますが。ホームページで環境に恵まれてないという条件を掲載するのは難しいことですし、募集についても、一斉に募集するのもたくさん応募が来たときにどうするか非常に難しいことであると感じていますが、ぜひ検討を続けていただければと思います。

## 6 その他

〔事務局〕

本日は貴重なご意見ありがとうございました。

追加募集による入塾の時期や、駒来塾の体験会の実施につきましても、賛同いただけましたので、頂いたご意見を踏まえながら、事務局にて、もう少し具体的に検討を進めて参りたいと思います。

次回、委員会につきましては、2月ごろの開催を予定しておりますので、また日程議事内容と詳細が決まりましたら、お知らせをさせていただきたいと思っております。